

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		作成日：令和4年1月25日		企業・団体名：一般財団法人あわせづくり佐川																	
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●	・採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別をしない体制を構築し、経営陣が積極的に取組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●	・個別面談の機会を設け風通しのよい職場環境であるように努めている。 ・ハラスメントについて禁止する旨を定め事業所内に掲示している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●	・職員間で仕事量の違いが出ないよう定期ミーティングで確認し仕事の見直しや翻訳資料の調整・振り分けを行っている。 ・複数名で同じ仕事ができるよう日ごろから教育することで問題解決につなげている。結果定時終業、休日出勤禁止が実現できている。 ・高知家健康宣言を行いワークライフバランスを意識している。									8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●	・外国人の雇入れ実績は無いが、外国人労働者を雇用する機会があれば適切な処遇や労働環境の整備を行う準備はある。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●	・日々の掃除を実施し職場環境に不備がないか確認している。 ・AED設置済み。 ・感染症対策として、体温計・手指消毒用アルコール・マスク設置等の対策をしている。				3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●	・毎週の定例報告会を月一回ランチミーティングとし職員のストレス解消やチームワーク向上につなげている。				3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●	・多様な人材が活躍出来るよう、家庭環境や心身の状態に合わせた業務を提供する準備がある。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●	・【予定】今後道の駅開業に向け人員拡充を計画中であり、様々な経験者や可能性を持った職員が集まる予定で、働く中で適性を面接等で見出し採用していく。教育の充実にも力を入れたい。 ・E-learningシステムを利用して新人教育からキャリアアップ、スキルアップ、リーダースキルアップマネージャースキルアップなどの機会を準備している。				4	5.5				8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●	・職員の職務範囲の明確化を設定し実施していく。 ・正社員、パート社員に関わらず、公正な待遇を行っている。 ・業務ごとに賃金水準が決まっており、雇用形態による待遇差別はない。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●	・2021年「高知家」健康企業宣言を行い、経済産業省「健康経営優良法人2022」に認定されるべく申請済み。 ・健康診断100%受診。再検査や保健指導のフォローを行っている。				3					8								
環境	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●	・各自の仕事の状況を報告してもらい適切な勤務形態を相談しながら決定している。 ・商談等は極力、電話やメールを使いWEB面談も行っている。				3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウイズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●	・あらゆる分野で挑戦している。決定は内容がしっかりと実証され信頼度の高い物から導入をしている。									8	9.1		11	12				
	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●	・事務所から出るごみは確実に分別されている。 ・廃棄物を極力出さない購買を心がけている。												11.6	12.4		14.1		
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●	・毎月見える化を行い管理している。 ・節電、節水など省エネルギーへ取り組んでいます。(木質ペレットを使った冷暖房)									7.3					13			
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●	・【予定】簡易算出シートを活用し、温室効果ガスの排出量を把握する。 ・部屋の温度を必要以上に冷暖房せずに温度管理している。 ・経営層がバイク通勤又は徒歩通勤を実行し、積極的に普及啓発に取り組んでいる。(化石燃料)									7.2 7.3				12.4	13.3			
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●	・【該当なし】事業の特性上、今のところ有害化学物質を使用することはない。					3.9				6.3				11.6	12.4			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に悪影響を及ぼさないことを配慮した商品を優先的に購入している。 ・自社活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								15				
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・ペーパーレス化、コピーには裏紙を再利用している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの使用に努めている。 ・事業所内においても分別を行い、3Rを推進している。 ・土佐水援隊みずいろ高知BLUEprojectに参加。ペットボトルなどの使い捨て容器の使用料量を減らし、環境負荷を低減するために、水道水を水筒やマイボトルに水道水を無料提供する「給水スポット」に登録している。										12.5		14.1						
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●		・節電、節水を心掛け使用機材も買い替えごと出来るだけ省エネのものに変更していく。 ・経営層がバイク通勤または徒歩通勤を実行し、積極的に普及啓発に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●		・土佐水援隊みずいろ高知BLUEprojectに参加。ペットボトルなどの使い捨て容器の使用料量を減らし、環境負荷を低減するために、水道水を水筒やマイボトルに水道水を無料提供する「給水スポット」に登録している。 ・節水や感染症対策に感知式の自動水栓化済み。						6.4 6.6												
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している	●		・現状取得予定なし。				3.9		6	7					12	13.3	14	15			
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●		・【予定】今のところHPなどは出来てないが、今後HPやSNSで発信していく。												12.6						
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●		・事務機器、冷暖房機器等の買替、更新の機会にエネルギー効率のよい機器を導入していく。								7.2					13					
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●		・地域活性化事業において、天然資源の持続的な利用を出店者等に求めている。												12.2	13	14	15			
25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●		・委託販売であっても「売り切る」を基本的考えとし、積極的に出店者に関与していく。 ・地域活性化事業における食の提供において、ロスの出ないよう出店者に求めている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15			17	
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・規範を代表者が示している。 ・汚職・買収賄賂がないよう、社内規定に明記、ことある毎に社内会議等で周知徹底する。																	16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・常日頃から「正しい行動」を呼び掛けている。 ・会社として公正な取引に努め、全社員にその重要性を理解してもらっている。 ・仕入先や取引先に対し、不当な値引き圧力がないかチェックしている。																	16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・社外への漏洩がないか、従業員への声掛けを定期的実施。 ・今後、意匠登録、商標登録など必要が出てきた場合は専門家の知識を借りながら、知的財産の保護に取り組んで行く準備がある。								8.2 8.3	9									
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報は全て佐川町役場に準ずる管理をしている。 ・個人情報保護に対する体制を整備している。 ・【予定】情報漏洩事故に対する具体的な対応策も検討予定。																		16
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●		・現状取り扱いはなく、今後も取り扱わない。 ・物品を購入する際は、適法・適切なサプライチェーンによるものかを確認する。																		16
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	●		・経営方針の柱でもある「三方良し」の考えを常に従業員へ意識するよう教育している。 ・取引先の活動に興味を持ち会話を通じ人権問題の防止、環境保護の取り組み状況をヒアリングしていく。					5			8		10	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・お客様が使ったときに「安全」を担保できるかを導入の基準の考えとしている。			3.9								12.4							
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・材料のトレーサビリティを管理し、製造元と客先と共に情報共有を行っている。 ・お客さまからの苦情対応等、業務品質向上に向けた取り組みを強化している。 ・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。											9							

